

## 会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係るまちづくり懇談会		
開催日時	令和4年5月11日（水） 19時00分～21時00分		
開催場所	座間市公民館集会室		
出席者	<p>【市】</p> <p>佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長、川島市長室長、森山総務部長、中島福祉部長、原上下水道局長、宮野消防長</p> <p>【参加者】</p> <p>市民等 13人</p>		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	第五次座間市総合計画の素案作成に対する意見交換		
資料の名称	まちづくり懇談会 第五次座間市総合計画（ざま未来プラン）における政策・施策について		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 資料に関する概要説明

別ファイルにまとめています。

#### 4. 意見交換

##### 【コンサルタント】

ありがとうございます。説明が終わりましたので、これより、意見交換に移ります。意見交換ですけれども、今説明がありました1から7の政策ごとに行います。1政策につき概ね10分程度とし、最後に総括的な意見交換の時間を設けたいと思います。なお、御意見のある方は挙手していただき、私が指名した後にマイクをお渡ししますので、マイクを通じて御発言をお願いします。時間に限りがありますので、できるだけ簡潔に御意見・御質問いただければと思います。

それでは、まず、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」について御意見のある方は、挙手をお願いします。

それでは真ん中の列の方、よろしくをお願いします。ただ今マイクを持ってまいります。

##### 【参加者】

私、ずっと仕事をしていましたので、子供もいないし、子供の現状というのが正直ちょっと分からないことで話すのですが、前に未来デザイン会議へ伺った時にいろいろな参加者の方とお話ししたら、座間市が抱えるいろんな問題点がいろいろ分かってきて。でも、それが一朝一夕にできないというのもよく分かっています。

一つ一つやっていくとして、この子供さんに関する1に関してなのですが、子供さんに座間のビジョンに参加してもらおうということで、多分これから10年、20年ぐらい先に座間市に住んでてもらって、自分たちがつくったまち、ちょっと手伝ったまちに自分がいるという喜びも感じるのではないかなと思って。今考えているのが、ちょっと思ったのは、小中学校の生徒さんに、自分はこんなまちにしたいというのを授業とか分からないけど、道徳とか何かの時間に紙に書いてもらって、その紙に書いてもらう時に、これ全部が実現するわけではないけど、座間市が頑張る、というのが子供たちに伝われば、座間市を好きになってくれるのではないかなという気がします。ただそれは、子供たちに座間ビジョンに参加してもらおうということをまず考えました。とりあえず、今は以上です。

##### 【コンサルタント】

ありがとうございます。ただいまの発言は、御意見ということでよろしいですか。

##### 【参加者】

そうですね。単にアイデアで。

**【コンサルタント】**

アイデアということで、ありがとうございます。その他、御意見いかがでしょうか。最初の施策なので、なかなか発言しにくいところもあるかと思いますが、よろしいでしょうか。

最後に、また全体を通しての意見交換の時間も取っていますので、振り返って、もしこの政策に関して御意見のある方、また御発言いただければと思います。

それでは、政策1につきましては一旦ここで止めておきまして、次に政策2「地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり」に移りたいと思います。政策2について御意見のある方、挙手をお願いします。

よろしいですか。お願いします。

**【参加者】**

未来デザイン会議というのもあれですけど、座間のために何かやりたいという方がものすごくいたのです。この前ね。そういう方たちは、本当にいい意味のボランティアで力を貸してくれるということがよく分かって。その中の2～3人の方が「実は市役所に相談に行った。」とおっしゃるのです。けれど、「ああ、ちょっとそれは無理ですね。」とやはり言われたと。結構話を聞くと、それ良いという。素人目には、それ良いですねと。それだと私も協力できるし、そういうことしたいと言ったのですが、やはりどうしても組織の中でできることの限度があるというのが分かったので、市民の力を活用する方法を、せっかく佐藤市長、女性というまた今までと違う視点があるので、市民にやりたがっている人がいっぱいいたというのが分かったので、それを生かせれば良いなと思いました。

**【コンサルタント】**

それでは市長、よろしくお願いします。

**【市長】**

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。市民協働というところかなと思うのですが。現在でも、本市では市民活動サポートセンターというものもございます。

**【参加者】**

市民活動サポートセンターのことは分かりません。

**【市長】**

情報がなかなかということですね。ありがとうございます。そちらには団体として登録をさせていただいて、例えばですけれども、相互提案型の協働事業というのもありまして、団体から市へ、こういう事業をやりたいということでプレゼンをさせていただいて、審査をして一緒にできるとい

うのもあります。それから例えば、これは社会福祉協議会のほうでやっているのですけれども、ボランティアセンターというのもありまして、そちらに登録をしていただくと、個人で活動されている方にもお声が掛かるというのがあるのですが、なかなか御指摘いただいたとおり、やりたいという方に少しハードルがあるのかなと。

**【参加者】**

挫折してしまつたと。

**【市長】**

挫折してしまつたのですね。私も少しそういう方から相談をいただいて、こういうやり方もありますよ、というお話はするのですけれども、挫折をしてしまつたという御意見もあるので、より皆さんが参加しやすいような形は今後も模索をしていきたいと思ひますし、御意見受け止めさせていただきますと思ひます。ありがとうございます。以上です。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。それでは入口側の後ろの方、よろしくお願ひします。

**【参加者】**

座つたまま失礼します。政策の6かなと思ひていたのですけれども、政策2のところにも近年では大型商業施設や物流施設の立地が続いていますと書いてあつたので、ちょっとこちらで御質問させていただきたいのですけれども。東原の日産の跡地と東芝の跡地に、とても大きな物流施設、今建てているようです。道路もとても混むのですけれども、最近テレビでNHKの番組か何かで、昔はすごく人のいないところに物流施設を建てていたのですけれども、最近は住宅街の中に建つことが多くなつたと。つひては、物流施設の中にその企業が公園をつくつたり、市民に開かれた食堂をつくつたり、図書館をつくつたり、コーヒーショップなどをつくつたりして、地域のために還元できるような物流施設が多くなつている、というニュースを見ました。東原の物流施設、すごく近い所にとても大きな物流施設がとてもたくさん建っているのですけれども、是非、市としてそのような提案をしていただきたいと思ひているのですけれども。もしできるのであれば、例えば座間市の中、子供の数と同じぐらいワンちゃんやネコちゃんもいると思ひますけれども、例えばドッグランをつくつてもらつたりとか、子供たちの公園をつくつてもらつたりとか。是非、もしそういう交渉ができるのであれば、地域の住民に開かれたような物流施設ができたらなと思ひています。どうぞよろしくお願ひします。

**【コンサルタント】**

それでは市長、よろしくお願ひします。

### 【市長】

御意見いただきましてありがとうございます。今、仰られたとおり、物流倉庫は今ピッキングの作業などもあるので、どちらかという働き手の確保ということも含めて比較的住宅がある所を好まれて建てているというお話を聞いています。本市は、物流倉庫界から言うと六本木だということをおっしゃる方もいらっしゃるのですけれども、大変人気が高い立地条件だと聞いています。そういった中で、工場などが撤退すると物流倉庫になっていくという状況があります。この状況は、今ネット販売などが増えている中で、止めることはなかなか難しいのかなと思っています。そういった中で、今御提案いただきました視点というのも大変大切だと思っています。ちなみに本市では、大型の物流倉庫で御協力いただけるところに災害時の協定を締結しています。例えば、車で一時避難をされた時に水の供給や電気、メガソーラーを設置されている物流倉庫もあるものですから、そういったことで御協力いただいたり、車等で避難をするような時に御協力をいただいたりというようなことで、今随時、順次そういった御協力いただける所と災害協定を締結しています。ですが、今いただいた視点も大変重要なことだと受け止めさせていただきます。ありがとうございます。

### 【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。それでは窓側の後ろの方、お願いします。

### 【参加者】

こんばんは。〇〇と申します。今日はこういう場をつくっていただきありがとうございます。政策1にも絡んでくると思うし、2にも絡んでくると思うのですが、先程政策1で、子供さん、児童生徒にこれからの座間市について意見を、というのが絡んでいたのですが、それに伴って、何か座間市で子ども議会ではないですけど、そういう場をつくっていただき、そういう意見を元にして子ども議会を開いて、これからの座間市にこういう形で、ビジョンではないですけど、こういうふうにしていきたいな、というのを決めたらよろしいかなと思います。

今の児童とか生徒は何に悩んでいるというのも多分大人には言いづらいと思うのです。子供は子供で悩んでいることがたくさんあって、特に今の中学2年生とかはコロナで学校行事も修学旅行も全部中止になって、どうせ自分たちなんか、と結構ネガティブに考えている世代が私の見た限りでは多くて。そういう中学生だから、生徒は、これからこういうふうみんなに何かしていった時に、こういうふうプラスになっていくとか、ポジティブに前向きになっていくのではないかと思いますし。また、これから座間市がどういうふうにやっていきたいといたら、どういうまちにしていきたい、というのも児童生徒は私たち大人よりももっと柔軟な考えでいろんなアイデアを持っていると思うし、是非そういう場をつくっていただき、これから座間市がもっともっと魅力あるまちになっていけたらなと、そう思っています。以上です。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。政策の1、2にも関連しまして、市民協働といった、子供さんの参画といった視点かと思います。市長、よろしくお願いします。

**【市長】**

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。実は、この総合計画の審議会の中でも同様の意見を出されています。例えばですが、学校の総合の授業などでそういったこと取組なども考えていく可能性はあるかと思っています。ですが、教育関係なので私がお答えすることは控えさせていただきますが、子供たちの意見を生かしていくと聞いて、できること、できないことはあるかもしれないのですが、聞いて少しでも1個でも2個でも生かしていけたら、子供たちは座間に愛着をもって、また座間市をさらに愛してくれるだろうな、ということはとても思っています。

そして、実は、学校の中でそういった未来のこういうアイデアを子供たちが出していますよ、というものを幾つかいただいたりする時も実際にあります。大変柔軟な考え方で、例えば動く歩道をつくったらどうだとか、安全をいつも見守っているようなロボットを設置したらどうだとかというような、かわいらしい御意見もいただいていますので、そういった子供たちの意見を聴く場を定期的に設けるような取組というのは、大変私としては興味深く思っています。実は子供たちからいろいろな質問を受けたことがあるのですけれども、その中で子供たちは大変前向きで、例えば中学生からの質問だったのですけれども、SDGsの取組にしっかり取り組んでいきたいけれども、座間市はどう考えているのか、といったような、すごくしっかりとした意見を持っているお子さんたちもいらっしゃるのです、大変頼もしく思っています。そういった子供たちの意見を伺えるような体制をつくっていく、というのも大変興味深い取組だと思っていますので、受け止めさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。大体、今10分ぐらい経過をいたしましたので、政策2につきましてはいったん止めたいと思います。また何かありましたら、最後の全体を通してというところで御発言いただければと思います。それでは次に政策3「安全安心で環境にやさしいまちづくり」に移りたいと思います。政策3について御意見のある方、挙手をお願いします。それでは入り口側の前の方、お願いします。

**【参加者】**

〇〇と申します。この中で施策の9番なのですが、防災、減災という項目です。私、実は地域の自治会の会長とか防災の会長をやらせていただいて、やっていて非常に苦勞するというか。防災というのは全員参加なのです、市民全員参加。これは言われていることなので、それはそれで

別に何一言もないのですけれど。とって、じゃあ、減災は誰がやるの。その仕事を。そうすると、やはり自治会の人間がやる。ところが、自治会というのが昔と違って、今私が認識している状況では、県内でも自治会員の加入率というのは、座間市は低いと認識しているのですけれども、これを上げないと防災全員参加というのと自治会の会員数、このギャップが非常にあって、今50%あるかないかと言われている状況の中で。何もなければ問題ないのですが、何かあったら非常に統率力がないのではないかなと。ただ、当然ながら自治会の中に防災という組織もあるので、当然その人間が、役員が主導になって自治会に入っていない方も含めて、いわゆる全員参加の方々を見なければいけないのですが、なかなかそのギャップが出てきて、やる人間やる人間みんな苦労しているのです。これ何とかしないと多分、何も問題が起こらなかつたらそのまま流れていくのですけれども、何か問題があった時には多分噴き出すのではないかなと思っています。これは、自治会の中には非常によくやられている自治会さんもあるし、私が聞いた範囲では、自治会があったけれども空中分解して無くなった、というところも聞いています。そうならないように、何らかの形でやらなければいけないのでしょうかけれども、加入率を上げる、なかなかそうは言っても、市の方々も皆さん知っていらっしゃると思うのですけれども、なかなか強制力がないからというような内容でそれを上げられないといった座間の加入率が非常に低い。高いところも確かにあるのです。県内の。じゃあ、何をやっているの、どうしているのですか、というところもあわせて考えてみないといけないだろうなと。マンションなんかは加入した時に半強制的というか、そういう言葉がなくても組織に入らざるを得ないというか、自然に入っていくという中で、行動はしなくても組織には入っているという最低限のことになるでしょうけれども。そういうことだけでも進まない、多分この防災、減災というところの問題、何かあった時に多分非常に行動に迷うのではないかと、というのが確実に出てくると思います。何もなかったらいいのですけどね。そこら辺で我々も含めて真剣に考えなければいけない。もし何らかに我々が参加させていただいてでもやりたいなと思っているのですが。以上です。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。防災、減災に絡めて自治会の加入率といった、そういった地域の課題ということかと思えます。市長、よろしくお願いします。

#### 【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。今御指摘いただいたとおり、本市の自治会の加入率は大変低くなっておりまして、50%を切った状況であります。今、市自連の皆さんとも加入率をどのように上げるか、という話し合いを進めているところでありますが、そういった新しいアイデアも含めて、どのように加入率を上げていくかということは課題だと受け止めています。

そして、今御心配あったとおり、災害時が大変私も心配をしています。自治会の存在意義というところで、やはり災害時の対応、それから地域福祉というところが大きくあると思っています。このコロナ禍の状況の中で、さらに自治会離れが進んでいることも大変懸念材料でありますので、今後さらに話し合いを進めながら加入率の向上に努めていきたいと思っています。

防災というところで申し上げますと、本市は、御存知かと思いますが、シェイクアウト訓練をしています。昼間人口約10万人と言われていますが、その半分、5万人の参加をしていただいています。そういった取組も含めて、市民の皆さんへの防災の意識の向上を今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っていますので、また何か、アイデアマンでいらっしゃると思いますので、是非何か良いアイデアがありましたら、御意見いただければと思います。貴重な御意見いただきましてありがとうございます。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは真ん中の方、よろしくをお願いします。

#### 【参加者】

自治会の件は私も大変気になっておりまして、うちの母が引っ越ししてきて以来、何十年も自治会やっていたのですが、何が問題かという、役員、皆さん持ち回りで、加盟している方が逃げ回ってもとても駄目で、体力的にも駄目と言って。だけど回覧板は何が載っているかという、市の情報はいろんなSNSとか、いろんな見る方法が、広報とか見られますけど、やはりご近所の方の訃報なのです。それも顔も知らない。どこに誰が住んでいるのみたいな。

だから、自治会という組織はやはり隣組の延長だと聞いていまして、多分システムそのものが今に合わなくなってきたと思うので、実際に自治会で活動なさっている方の負担は想像を絶すると思うので、それもちょっと理不尽だなと思うので。例えば1ブロックずつ分けて、情報は例えばポスティングで分かりやすい、高齢者でも一発で分かるような1枚物でペラ紙をちょこちょこ入れる。だから回覧板はやらない。誰かが止めると、ずっと何日も止まっていることがあるので。

うちも母が高齢になったのでいろいろ考えて、ご近所の方もやめたと言うので、うちもすみません、やめてしまったのですが、それではもったいないと。ただ、何かあった時にボランティアとしてすぐ手を挙げてくれるような雰囲気が、まさに、エリアにあれば、あまりそこは心配することはない、逆に自治会で今頑張っている方々の負担も減らせる方法があるのではないかな、とずっと思っていました。ちょっとそこは出る筋合いではなくて、そのままになっていますけど。違うシステムをそろそろ、隣組から解放したいなど。以上です。



【コンサルタント】

ありがとうございます。前の意見に関連しての御意見ということでよろしいですか。

【参加者】

そうです。いや、お世話をなさっている方、すごく大変なのです。

【コンサルタント】

ありがとうございます。よろしくお願いします。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。私も、これまで自治会の役員等いろいろとやってきましたので、自治会の役員の方々の御苦労というのはよく分かっているつもりです。自治会によっては、少しでも負担軽減ということで、今クラウドで資料をシェアするとかということも、それはなかなかそういう人材がいない。たまたまとてもいい人材がおりまして、そういうちょっとDX化が進んだ形であったり、Twitterで情報発信したりということもやっているのですけれども、その人材がいなければ、なかなかそこは難しいところではあるのですが、本市でもDX化を進めています。

LINEの友達登録者数が今7万人以上になっておりまして、本市13万人の人口ですので、半分以上の方々にLINEを登録していただいています。そういったものも活用しながら、例えばボランティアの登録等、何か可能性はあるのかなということも考えながら、また皆さんと良い意見がございましたら、課題として本当にみんな思っているところだと思うのですけれども。

今、子ども会や何かの場合は、自治会の役員なんかもそうだったのですけれども、LINEでグループをつくって、その中で会議をする、ということも進んでいるような状況はあるかと思うので、そういったものを活用するのも一つの案かなとは思っています。以上です。ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは、大体10分経過いたしましたので、次に移りたいと思います。また安全安心、環境に関する御意見ありましたら、最後の総括の時にお願いします。

それでは、次に政策4「健康に暮らせるまちづくり」です。この政策4について御意見のある方、挙手をお願いします。カラーの資料の7ページ、健康、医療、文化、スポーツといった施策が関連してきます。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次の政策に移ります。次は政策5「共に認め合い、支え合うまちづくり」です。この政策5について御意見のある方、挙手をお願いします。それでは入口側の前の方、お願いします。

### 【参加者】

この中で15から19、16っていうか、ここが一番この中で気になったのですけれども。何が言いたいかと、先程の自治会でもちょっと引っ掛かったのですけれども。最近、知っていらっしゃるように、独居老人が結構増えているのですね。たまたまというか、うちの自治会、そんなに大きな自治会ではなかったのですが、知らない間に亡くなっていたと、知らなかったと、亡くなっているのを。亡くなった後、新聞か何か配達が溜まってしまって、やっと分かったというのが発生したのです。これは非常にわれわれ自治会の、その頃役員ではなかったのですけれども、どうしてそれが分からないのという、周りの人の目がある。ただ、やはりそれほど親しくなかつたらそういうことがなかったと。人によっては、これ民生委員の仕事ではないのと言う人もいます。私はそうは思わないのですけれども、その中で先程自治会のいわゆる価値というか、何か意味があるのとよく言われるのです。入っていたら、何かいいことがあるのですか、とよく言われるのですけれども。それに対して、やはり独居老人とかに対して声掛けをする、いわゆる朝1回かどうか分かりませんが、それはいろいろでしょうけども、声を掛けて安全を確認する。誰かがやらなければいけないのしょうけれども、それを自治会の役目としてやることによって価値が上がるのではないかな、ということも一つ出てきているのです。それが高齢者の支援。ちょっと意味が違ってもかもしれませんが、いわゆる独居老人の守りというか、そういうことも必要なのではないかなと思いました。以上です。

### 【コンサルタント】

ありがとうございます。独居老人に関する課題かと思えます。市長、よろしくお願いします。

### 【市長】

御意見いただきましてありがとうございます。御指摘のとおり、独居もしくは高齢者のみの世帯というのは増加傾向にあります。そのような中で隣近所とのつながりが薄くなっているということもありまして、知らない間に亡くなっていた、という事例は幾つもあるかと思っています。やはり周りの方たちが気に掛けていかなければ、そういった課題はなかなか解決ができないのかなと思っています。本市では、御存知のとおり地域包括支援センターが中学校区に1つということです。地域包括支援センターと地域のつながりを深めていったり、隣近所で気に掛けたり、声を掛け合ったりということが、やはり基本だということはと思っています。民生委員の方々も、そういった独居の方たちにお声掛けをいただいているのですが、今、個人情報の関係などもございまして、独居老人の方から申し出がなければ、なかなかそういった情報も民生委員の方たちが掴めないといった部分もございまして、大変そこは難しくなっているな、というのは実感しています。私もご近所でやはり独居をされていた方が気になりまして、民生委員さんにお声掛けをして、どうですか、ということで申しましたが、やはりその方が「いや、うちはいいです」と言われてしまうと、民生委員さんも例えば伺えないとか、そういったこともあるので。なかなか

それぞれの個人の考え方というものもあって、大変難しい課題だとは思っているのですが、ただ、やはり地域で支え合えるような関係をつくっていくというのが重要だと思っています。

地域サロンといった取組も今行われていて、地区社協で中心になっているところが多いかと思うのですが、そういったところに出てきてくださる方は、まだ顔見知りもできていいのですけれども、全くそういった地域のつながりの中に、コミュニティに入ってこないような方たちというのは、なかなかやはり顔見知りで話したことがないと気に掛けられないという部分もあるので、そこは大変課題だと思っていますが、御意見として受け止めさせていただきたいと思いません。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、政策5につきましてはここでいったん止めておきまして、続きまして政策6「緑あふれる快適なまちづくり」に移ります。政策6について御意見のある方、挙手をお願いします。いかがでしょうか。資料の9ページ、都市計画、市街地整備、公園緑政、道路、上下水道といった施策になっています。よろしいでしょうか。

それでは、次の政策に移ります。続きましては政策7「行財政運営」です。この政策7について御意見のある方、挙手をお願いします。こちらの前の方、お願いします。

#### 【参加者】

この中でちょっと知らなくて逆にお聞きしたいというところがあるのは、基地政策。私も座間に来て40年以上経つのですが、その頃から当然ながら基地、座間キャンプがあったのですけれども。いろんな情報が入ってきているのでどれが正解かどうか分からないのですけれども、多分相当先にならないと無くならないだろうな、と思いつついるのですけれども。この辺の今の座間キャンプに対しての座間市としての考え方、進め方というか、どういうふうにしていこうかと思っていらっしゃるのか、お聞きしたいです。

#### 【コンサルタント】

それでは市長、よろしくをお願いします。

#### 【市長】

キャンプ座間に対しての本市の姿勢というところかと思いますが、本市としては整理、縮小、返還というところがまずは基本姿勢としてあります。3月にスカイグリーンパークというキャンプ座間の返還地に公園が完成し、開園をさせていただきまして、これで5.4ヘクタールの返還跡地について、病院、新消防庁舎、それから自衛隊の宿舎、スカイグリーンパークの整備という

ことで5. 4ヘクタールの返還跡地の一連の整備が終わったところです。今後も引き続き、負担軽減、そして整理、縮小、返還について国に求めていきたいと考えています。

また、本市では基地返還促進等市民連絡協議会というものもございまして、明日総会があるのですけれども、その中の役員会などでも少し議論がされているところではありますが、引き続き整理、縮小、返還については求めていきたいと考えています。以上です。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。その他、政策7について御意見ある方、よろしく申し上げます。真ん中の前の方、お願いします。

**【参加者】**

この施策31の市有財産の有効活用のところで、以前もちょっと提言させていただいたことがあるのですけれども、市役所とか、既に出来上がっているいろんなスカイアリーナとか、そういったところが今有効的に健全に動いていないという感じがして。建物行政の時代にできた市役所に、何でもこういうことになったかという、母がちょっと介護とかで市役所に行くケースがよくあったのですけれど、入り口を入るとめげるのです。暗い重い感じが。だから例えばあそこ、ボランティアで、市民参加で色を塗るとか、どこかの工場だか会社に例えばLEDとかを寄附してもらって間接照明にするとか。とにかく一回入っただけで、どんよりしてしまう。地下の駐車場からどんよりする。そういう既にあるものの印象を変えるということ。色とか、あと風通しを良くするとか、レイアウトを少しいじるとか。お金を掛けずに市民参加でイメチェンなんかできないかな、というのはずっと思っています。とりあえず以上です。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。今もアイデアということでよろしかったでしょうか。

**【参加者】**

そうです。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。ただ今政策7「行財政運営」ということで御意見を承っています。よろしいでしょうか。

それでは、ただ今政策1から7について御意見を伺いました。最後に全体を通してそれぞれの政策に関連するものでも構いませんし、総括的な御意見がある方、挙手をお願いします。

よろしいですか。はい、じゃあよろしく申し上げます。

## 【参加者】

今日というか、こういうふうに未来デザイン会議もそうなのですが、参加させていただいたのは、せっかく佐藤市長が誕生したので、今までの男性の市長さんと違う視点というのが、子供にシフトするとか、いろいろ拝見させていただいているのですけれど。たまたま今日はフィンランドのマリン首相が今多分岸田さんと会談してお話していると思うのですが、まだ36歳なので。あの辺の人たち、みんな若いですよ。女性の首長さんが。

コロナ禍で注目浴びているのは、やはりそういう国。ニュージーランドのアーダーン首相とかは毎日SNSで国民に、今何が起きてどうやってこうやって、こういうことできない、ああいうことができる。明日はこうなるかもとか、今日はこんなことがあった、ということを行っているだけで、とにかく国民が落ち着いていると。そういう存在に佐藤市長にもなってもらいたいなと思っていまして。ただやはりずっと日本は、日本的な社会はどうしても男性がつくってきた部分があるし、システムそのものがずっとそのまま構築されているので難しいことがいっぱいあると思うのですけど。コロナ禍で分かったのが、世界にどれだけ女性の首相が、大統領が多くなったかというのが分かったので、同じようなイメージチェンジに佐藤市長の視点を是非入れてもらうことが、明るい座間に向かうのではないかなと思っていまして、それを応援できる体制を、例えばアイデアポストの常設とかで。そういうのがあったみたいなのですが、座間の広報誌は読む気が、ちょっとすみません、起きなくて、デザイナーを変えていただきたいな、とずっと思うのですけど。まだタウンニュースなんかのほうが紙質とか明るさとか。やはり昔ながらのわら半紙、ちょっと紙が上質になっていましたけど、あれのレイアウトとかデザイナーを変えていただくとか。印象なのです。印象で人の気持ちはすごく変わるから、せっかく女性市長になったから、そこを市長が、難しいこといっぱいあると思うので、人のせいにして市民のせいにして、そういうところを、市民からこういうクレームが来ました、こういうことを言われました、ということ进行全面に出しながら、予算を掛けない方法は山ほどありますから、イメージチェンジを図るためのお手伝いを是非させてもらいたいと思えています。やはりあまりにも、今日1人でしゃべっているものであれですけど、私も今独居老人になっているのですけどね。今70歳なので。ですが、近所のもっとおばあちゃまが1人で住んでいるのです、アパートに。行くところがないと。コミュニティバスとかで市役所へ行っって、あの辺で何か、行ったらどうか言っても行く気がしないと。どこに行ったらいいか分からないと。だから毎日のように散歩しているのですけど、徐々に徘徊っぽくなってきて。だから、少なくとも近所の何とかサロンとか何でもいいのですけど、気楽に。老人会っていう名前も変えたほうがいいと思うし、普通に掛けられるような環境。コミュニティバスのスケジュールも自分で車運転しているのもあるけど、分からないですよ。今ルートも昔と違って、ひばりが丘から市役所に行くバスがあるのかないのかも分からないとか。そういうのを回覧板、自治会に入っていない人とか広報誌読んでいない人はいっぱいいると思うので。例えば、ポスティングで週に1回ぐらい、赤いこんな枠に今週のお知らせみたいなのを簡条書きにして、それも大きなフォントでね。それをポスティングして、それをみんなで共有する。ポスト

ぐらいだったら見るでしょ。新聞取っていないとこ、自治会にも入っていない、何もやっていない人がいっぱいいるので、ポスティングで座間の情報を1枚の紙に大きな字で。クレパスみたいなクレヨンで描いた絵みたいなものを添えてもいいのですが。要するにそういう印象で座間を変えていただきたい。まず広報紙を変えていただきたい。本当にすみません。私こういうとこに出てくる割に、あれを読む気がなくて、ごめんなさい。以上、ちょっと個人的な感想でした。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。たくさんアイデアをいただいたかなと思います。また後ほど総括の時に少しコメントいただければと思います。その他、全体を通していかがでしょうか。それでは入り口側の方、よろしくお願いします。

#### 【参加者】

今回座間市の最上位計画ということで、座間市は社会教育、生涯学習において幼年会ができ、とても早い時期に公民館ができ、座間モデルと言われるあすなろ大学など、とても生涯学習、社会教育に力を入れていると思っていたのですけれども、この総合計画の中で生涯学習や社会教育というのが政策4の文化、スポーツ、とても短いこの1行になってしまっています。それで、ましてや成果指標が施設利用者数、事業の参加者数、図書の貸出冊数ということで、私は生涯学習とか社会教育の成果指標というのはそういうことではないのではないか。例えば、生涯学習をやったことによって満足度が上がる、座間市に住んでよかった、市民の生活向上、そういうところにこそ成果指標があるのではないかと思うのです。参加者数ではないと思っているのですが、その辺りどのように、座間市の生涯学習、社会教育について、最上位計画における位置付けというのはどういうふうに考えていらっしゃるのでしょうか。

#### 【コンサルタント】

それでは市長、よろしくお願いします。

#### 【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。今発言がございましたとおり、本市は早いうちから幼年会の活動や様々な社会教育、生涯学習というものが大変盛んに行われてきた市だと思っていますし、その精神をしっかりと今後も継続をして継承していかなくてはならないということを考えています。そういった中で政策4のところで、文化、スポーツということで表現をさせていただいていますが、今後さらに柔軟な形で取組をしていきたい、といった思いがあります。

そして、成果指標というところですが、各事業の参加者数というのもございます。そういったところで成果指標を求めていきたいということを考えているのですが、今いただいた御意見も受

け止めをさせていただきたいと思います。満足度というのを今回成果指標の中ではなかなか満足度で測るというのが、人それぞれの感じ方で変わってしまうという部分も含めてなかなか難しいなということもありまして。

成果指標に満足度を取り入れていないという全体的な今回の指標の設定の仕方もございますが、いただいた御意見は受け止めさせていただきたいと思ひますし、今後も柔軟な形で本市のこれまで行ってきた生涯学習等、継承していきたいと考えています。以上です。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、まだ発言されていない方も、せっかくの機会ですのでいかがでしょうか。それではこちら前の方、よろしくお願ひします。

#### 【参加者】

これ全体的に見て、多分この政策のチョークポイントっていうのは政策2にあるのかな、なんて思っています。というのも、この地域の魅力を高めてにぎわいのあるまちづくり、というので、ここで多分お祭りとか、大風まつりとか、そういうのをやって自治会とかの結束とかを高められるのかなというので。

そしたら政策3とかにもつながって行って、みたいなふうに思っているのですが。ただ、政策2やるにしたとすれば、多分座間市は高齢化が進み過ぎているのかな、と思うのです。なので、その辺の若い人たちのマンパワー的なのをどうやってつくっていくのかなって思っているのですけど。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。若い方たちのまちづくりへの参加とか力をどう活かすか、という意見かと思ひます。よろしくお願ひします。

#### 【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。若い方たちのマンパワーをどのように今後取り込んでいくかという御質問かなと思ひます。私もこれまで様々なイベント等、市長になる前に市議会議員の時代に企画をして市民の方々と一緒に、また行政とも協働しながら取り組んできた経験もあります。そういう中で若い方たちを巻き込むというところは大変課題だと感じていますが、これまで取り組んできたものでも少し切り口を変えてみたりとか、広報の仕方を変えてみたりとか、キャッチフレーズをちょっと変えてみたりとか、参加の仕方を少し工夫したりということで、だいぶ参加していただける方が変わってくるということは実感しています。先程も申し上げましたとおり、本市ではLINEの登録者数が7万人を超えているということで、これまでなかなか広報をしても御参加いただけなかったようなものでも、LINEで流したりするとご

参加いただけたりということも実際に起きてはいますので、そういったものを活用したりですか。あと、本当に本市で行われているボランティア活動などでも大変素晴らしいものがあるのですが、そのことを知らない方たちも多くいらっしゃるのでは、広報の仕方ですか、若い方とそういう活動をつなげていくというのは課題とと思っていますので、またそういった何か良い御意見、アイデアなどありましたら、お聞かせもいただきながら取り組んでいきたいと思っています。以上です。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。それでは後ろの方、お願いします。

#### 【参加者】

政策3の地球温暖化対策の推進、資源循環の推進に絡んでくると思うのですが。というのも、私、先程から自治会のことを言っていましたけど、今、自治会長をしています。それで今、当自治会ではごみの集積場を増設してほしい、という意見が出ておまして、候補地があったのですが、その候補地に対しては周辺の住民の方が、会員の方が反対ということで、反対である以上増設はできない。増設できないならどうしたらいい、と考えた時に、私は家で段ボールコンポストをしておまして、段ボールコンポストをすると家庭ごみ、かなり大体5割近く多分あると思うのですが、それが減るのです。それを自治会として段ボールコンポストを取り入れたらどうだとこの間提案して、今意見をいただいているのですが、まだ全部は集まっていないのですが。その段ボールコンポストの意見というのが、虫が湧くから嫌だとか、面倒くさいとか、雨の日どうするのだとか、そういう御意見が多いのです。関心ある方もいらっしゃるけど、少ないのですが、関心ある方がいるのはすごく良いことだなと思っています。段ボールコンポストを導入するに当たっても、その先、私は今農作物とか育てていて、非常に段ボールコンポストでできた堆肥って有効、本当によく育つのです。野菜とかお花を育てている方も多分有効だと思うのですが。そういうことはやっていないけど、ごみを減らしたいという、そういう思いを持っていらっしゃる方は多いと思うのです。そうするとその先、コンポストをやるけど、受け入れまでしっかり考えていかないと、こういう問題は続いていかないと。せっかく環境には優しいことをしているのですが、そういうのが続かないのではないかなと思っています。各自治体も多分段ボールコンポストを推進はしていると思うのですが、その先、受け入れとか、そういうところまで座間市も、ちょっと一歩進んで今有機農業とか、そういうので欲しい方はたくさんいると思うのです。そういうところの、つなげるような施策ではないですけど、是非そういうのをやっていただけたらな、と思っています。以上です。

#### 【コンサルタント】



ありがとうございます。ただ今の御意見、資源循環に関する御意見ということでよろしいですかね。よろしく申し上げます。

**【市長】**

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。今お話の中であったとおり、段ボールコンポスト又は電動生ゴミ処理機など、キエーロなどもありますけれども、そういったもので堆肥化はできても、そこから先の活用というところが、ご自身で家庭菜園をやっている、畑をやっている方たちは有効に活用ができてはいるけれども、そこから先がなかなか難しいというところは課題として感じています。特に電動生ゴミ処理機ですと塩分の問題があって、少しさらしておかないと堆肥として活用ができないといったような課題もあると聞いています。そういったところも含めて、使う先の部分も考えながら循環型の社会の構築をしていかななくてはならないと考えていますし、そういったアイデアも含めて企業などとも連携をして循環型の社会の構築に向けて取組を進めていきたいと考えています。御意見いただきましてありがとうございます。

**【コンサルタント】**

ありがとうございます。時間の関係であと1つぐらい最後にどうしてもっていう方いらっしゃれば、いかがでしょうか。

**【参加者】**

その他でいいですか。

**【コンサルタント】**

お願いします。

**【参加者】**

総合計画にはあまり関係ない、あると言えはあるのですけども、現実私も公民館の地域に住んでいるのですが、ここに鈴鹿長宿商店会という会があります。そこで学童の通学路のところとか、この地域辺りに22本街路灯がついています。街路灯をつけてあります。しかし、これが、長宿商店会が解散するというので、今年度中にその街路灯22カ所、撤去になります。その時に役所さんの窓口うちの理事長さんも相談には行っていると思うのですが、早急にちょっと見ていただいて、あまり暗くなりそうで危険な所は何か街路灯を早急に設置していただくようにしていただけたらなと思います。5年先のことも大切だと思うのですが、今現在ここで急に暗くなってしまうところもあると思いますので、よろしく申し上げます。

**【コンサルタント】**

はい、ありがとうございます。これは御意見・御要望ということでお受けさせていただければと思います。よろしいですか。

それでは時間の都合上もごさいます。たくさんの御意見本日いただきました。意見交換はこれで終了させていただきまして、最後に市長から総括、よろしくお願ひします。

#### 【市長】

本日は大変お忙しい中、貴重な御意見をたくさんいただきまして本当にありがとうございます。先程御意見ありました広報ですとか、ホームページのリニューアルをという御意見があったかと思いますが、今年度リニューアルをさせていただき予定でいますので、どこまで期待に添えるものができるかというのがあるかと思いますが、ご期待いただければと思います。

本当に、これから先少子高齢化の中で地域のつながりが希薄化しているところ、この地域に住む皆さんがどのように行政運営やまちづくりに参加をしていただくかというのは工夫をしていなくてはならないということを思っています。本日お集まりいただきました皆様方はそういった意識も大変高い方々で、日頃より様々な活動にもご参加いただいているかと思ひます。そういった中で課題に感じていらっしゃる事、また何か良いアイデアなどがございましたら、市長への提案という制度もごさいますので、メールなどでも受け付けをさせていただいていますので、是非御意見もいただけたらと思ひますし、LINEなどでも今意見を聴取するような取組も考えていますので、皆様方からの御意見を受け止めをさせていただきながら、その中で行政としてできることは取り組んでいきたいと思ひています。

まちづくりは、市民の皆さんが主役だと思ひています。市民の皆さんと共に、これからも座間市の未来を創り上げていきたいと思ひています。それには、皆様の御協力が何より大切だと思ひています。どうか、これからも座間市の地域づくり、まちづくりを皆さんと共に行っていきたいと思ひますので、どうぞ御協力よろしくお願ひします。本日は本当にありがとうございました。

#### 【コンサルタント】

それでは私の進行はここまでといたしまして、進行を市にお返しします。

## 5. 閉会

別ファイルにまとめています。